

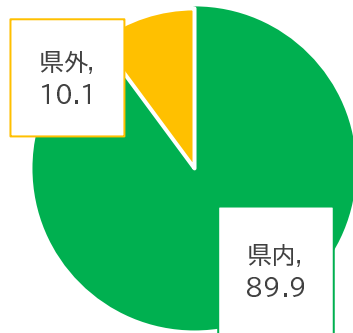
<p>調査概要</p>	<p>調査期間:令和4年12月16日～令和5年1月31日 対象者 :奈良県に在住(未就業の方含む)あるいは奈良県で就業している保健師・助産師・看護師・ 准看護師資格をお持ちの方全員</p>
<p>回収数</p>	<p>回収数:943名(就業中の方:902名、非就業の方:41名) (就業中の方に係る回答データについては回答数として有意であるが、非就業の方については回答 数が少なく信頼性が低いと統計分析相談にて確認)</p>
<p>調査結果</p>	<p>I.回答者の概要 II.看護職としていきいきと働けているか III.現在の就業先で働き続けるか IV.プラチナ世代(50歳以上)の今後の働き方 V.キャリアアップの取り組み VI.キャリア別 いきいき働くための理由 VII.まとめ ～いきいきと働き続けるために</p>



I. 回答者の概要

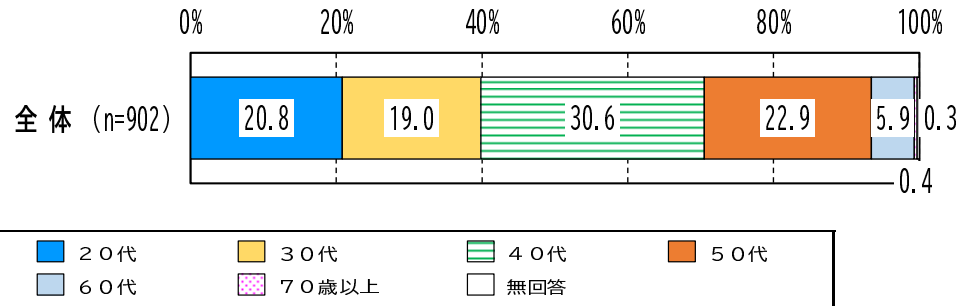
(1) 居住地(県内・県外)

9割が県内居住



(2) 12月1日現在の年齢

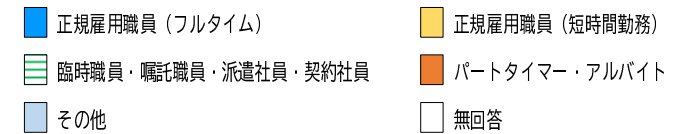
年齢構成は、20～30代が40%、40～50代が54%、60代以上は6%



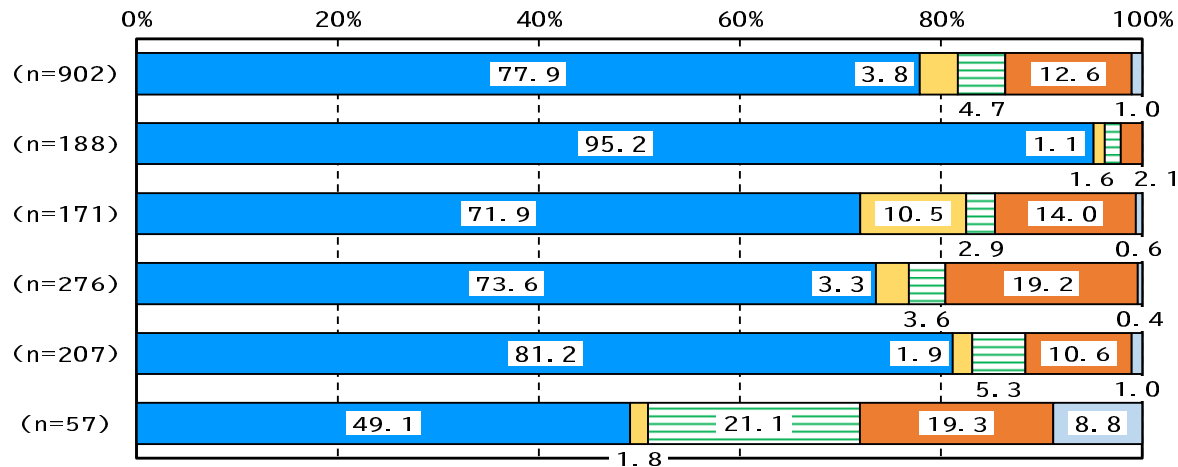
20～30代	40～50代	60代以上
39.8	53.5	6.3

(3) 雇用形態

雇用形態はフルタイムが78%。年代では子育て世代の30～40代やリタイア世代の60代以上でパートタイム比率が高めで、60代以上ではパートタイム比率が40%に上る。



全 体	
年代別	20代
	30代
	40代
	50代
	60代以上

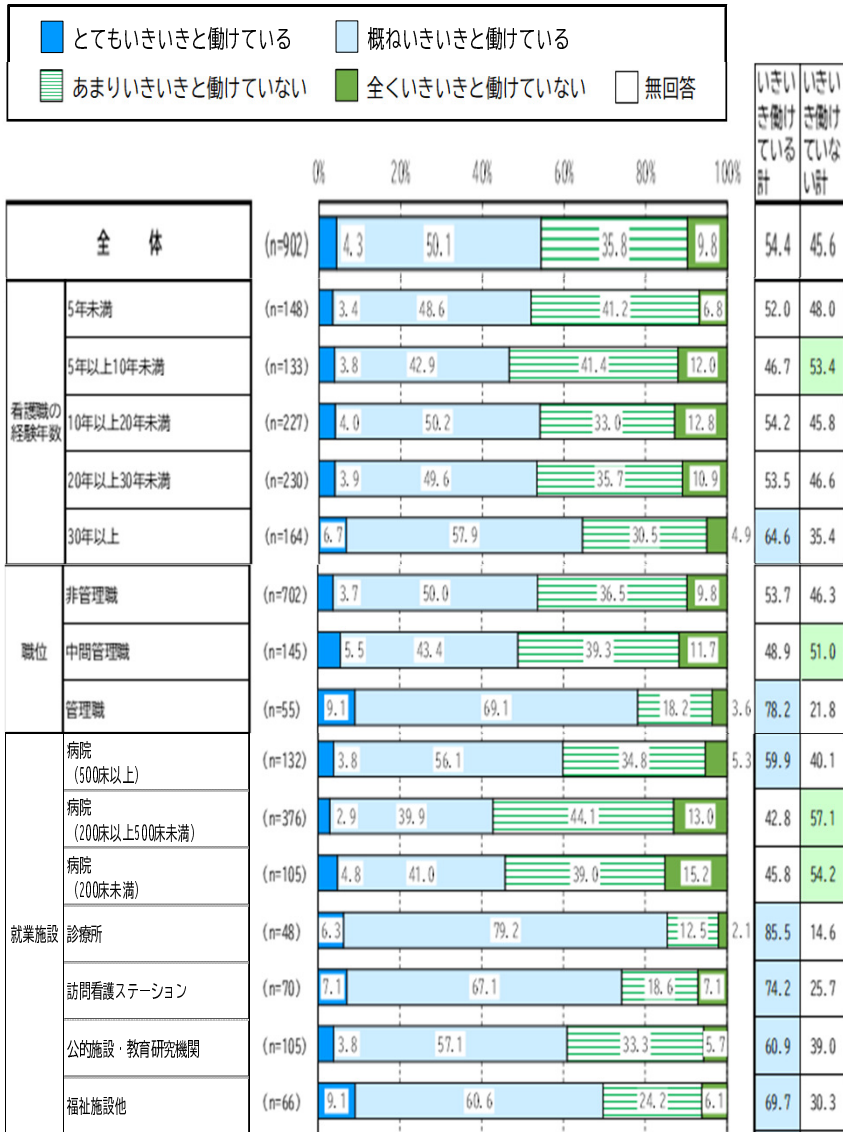


正規計	非正規計
81.7	18.3
96.3	3.7
82.4	17.5
76.9	23.2
83.1	16.9
50.9	49.2

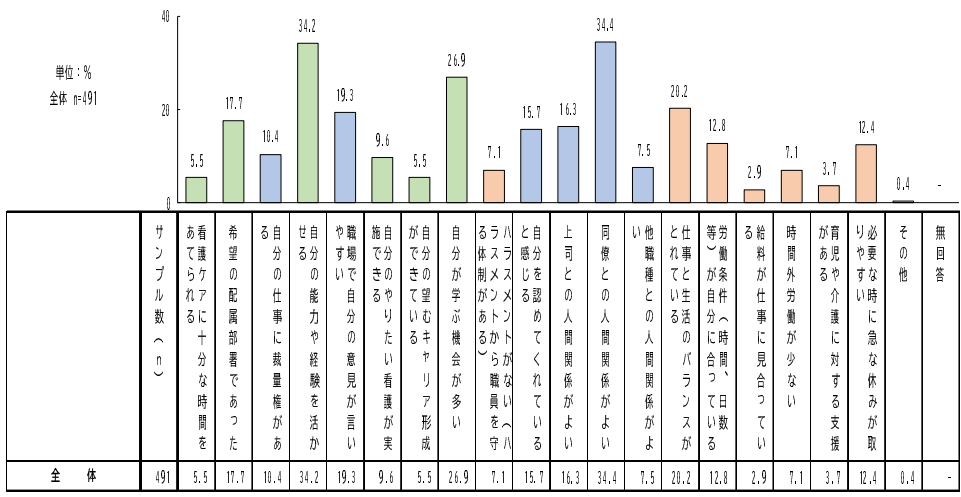


II .看護職としていきいきと働けているか

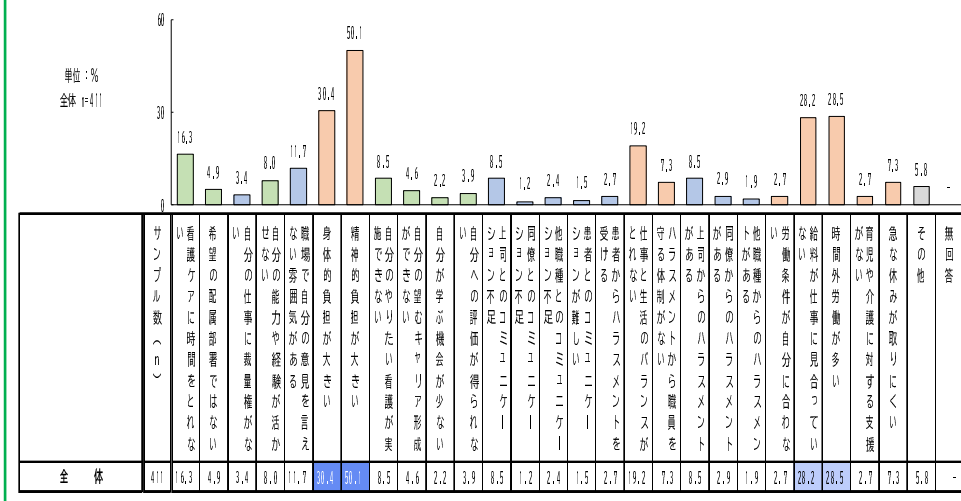
(1) 看護職としていきいきと働けていると思いますか



(2) いきいきと働けている理由



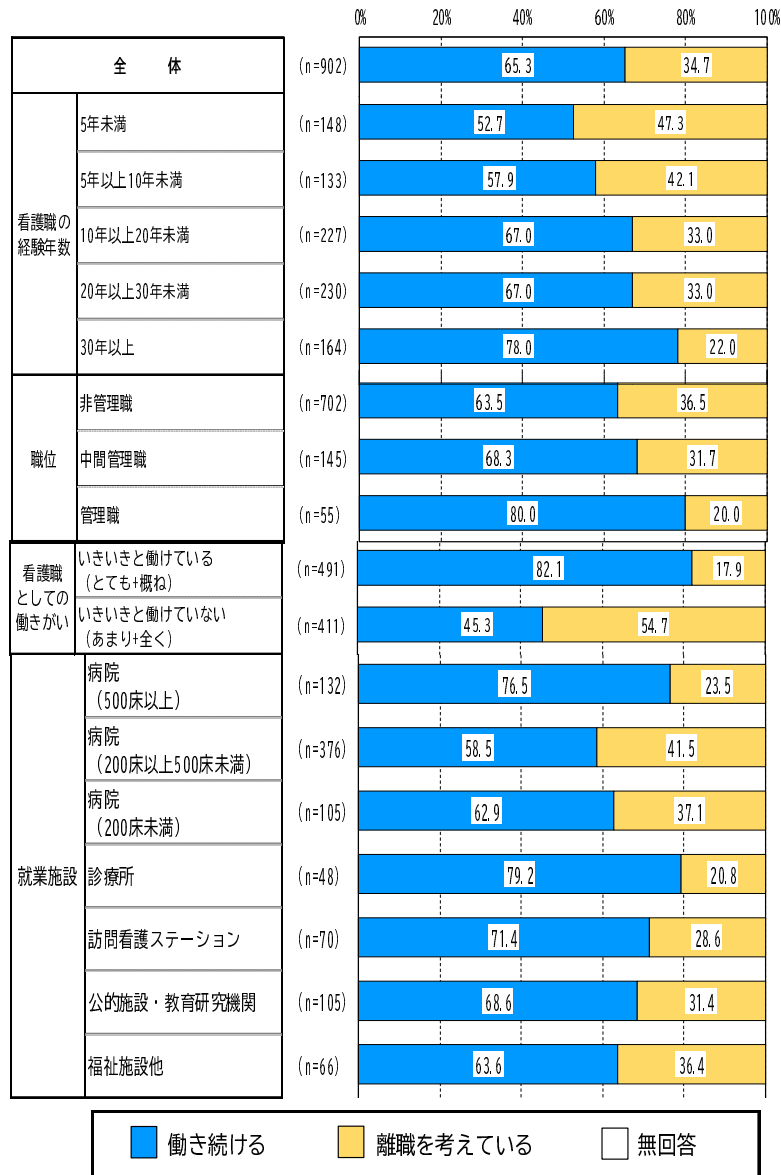
(3) いきいきと働けていない理由



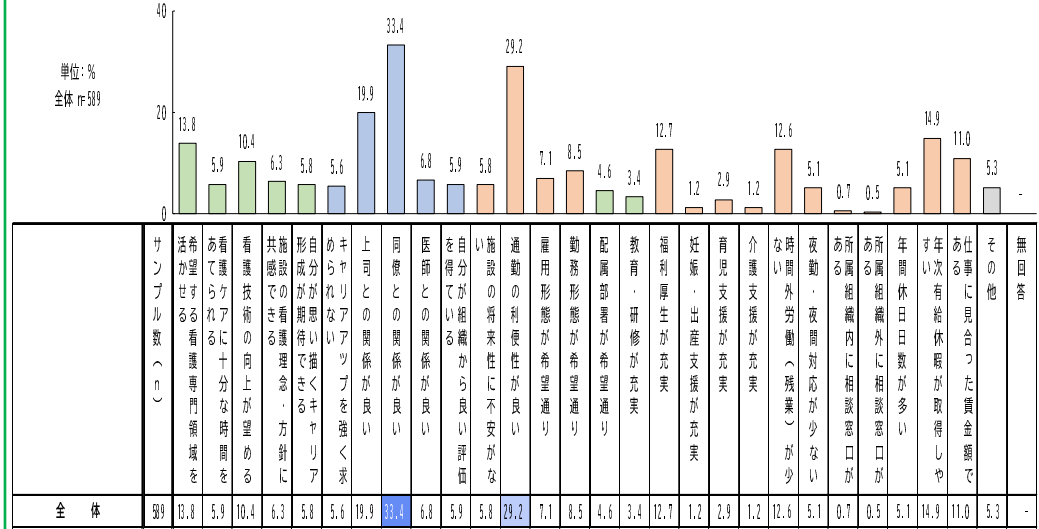


Ⅲ.現在の就業先で働き続けるか

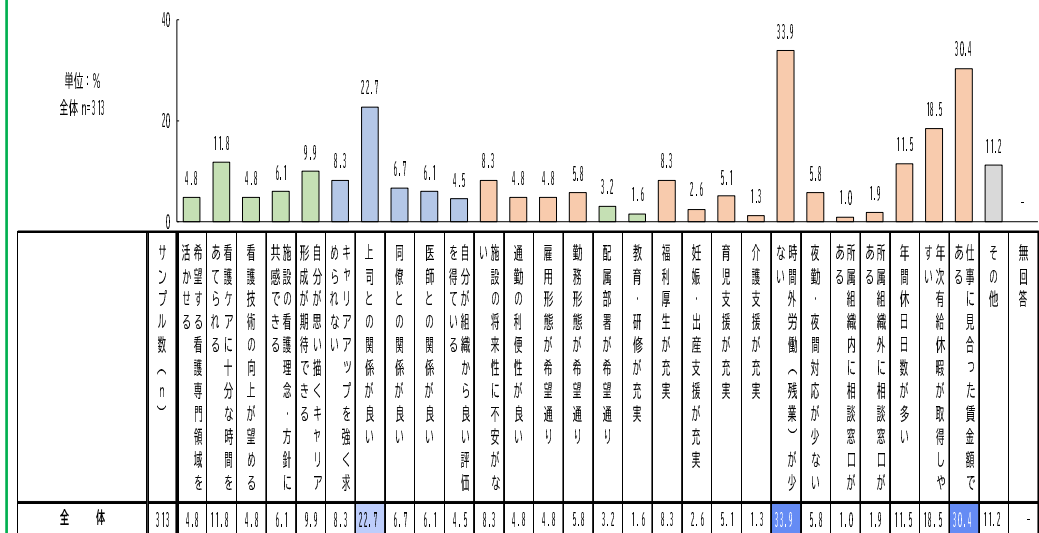
(1)現在の就業先で働き続けますか



(2)働き続けるために必要なこと



(3)退職を考え直すのに必要なこと

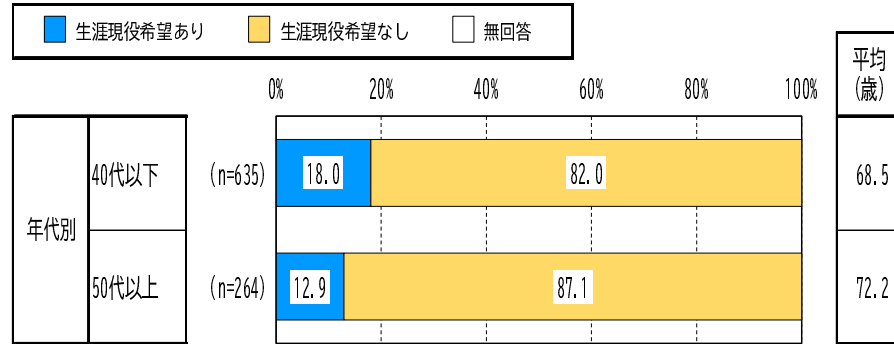




IV. プラチナ世代（50歳以上）の今後の働き方

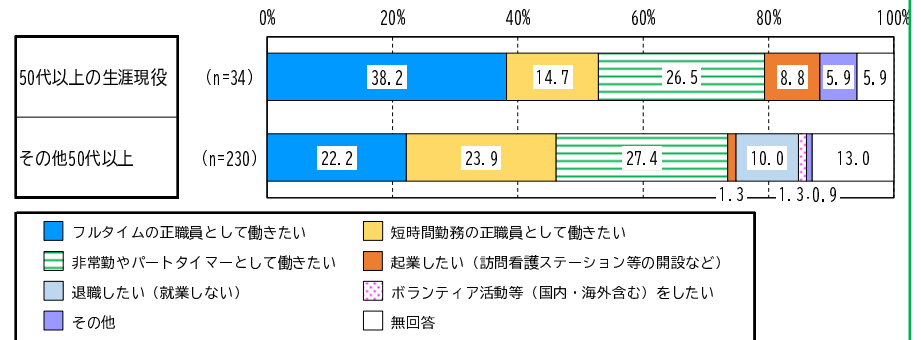
(1) 看護職として何歳まで働きたいか

年代別にみた「生涯現役」希望率は、40代以下で18%、プラチナ世代で13%



(2) これまでの勤務先での雇用形態【50歳以上の方のみ】

50代以上の「生涯現役」志向層の希望する働き方は、フルタイム38%、パートタイム41%とフルタイムとパートタイムが拮抗するが、「生涯現役」を希望しない層ではフルタイム22%、パートタイム51%と様相が異なる。



(3) 定年以降の就業先としての関心度

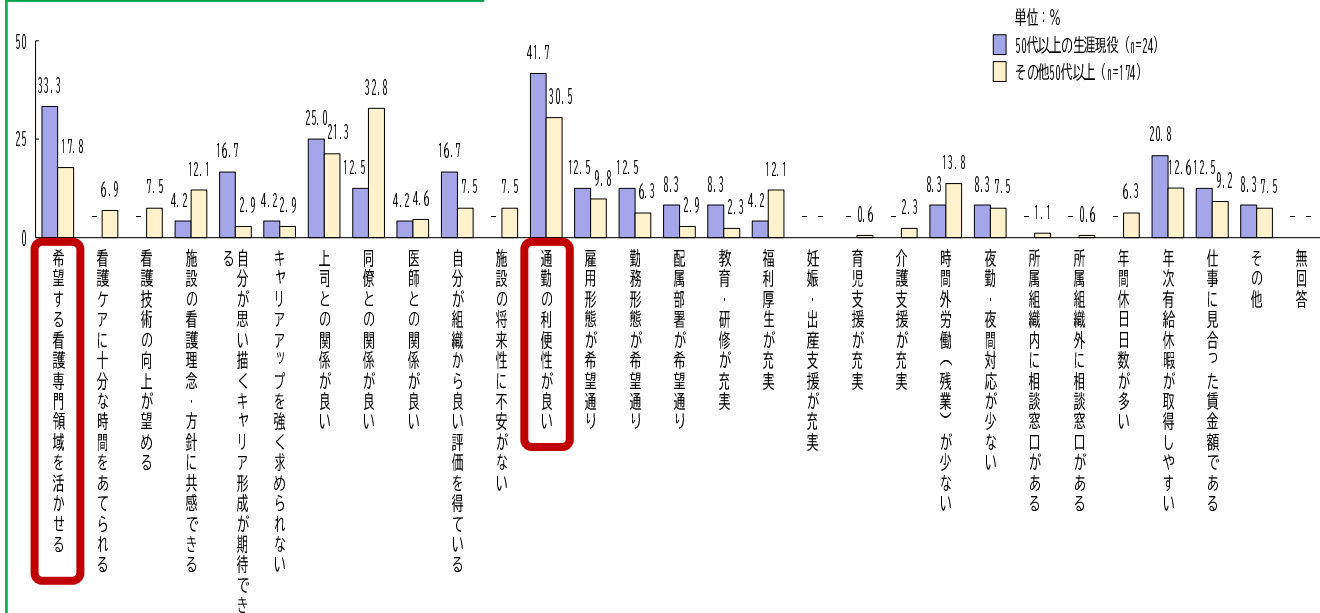
定年以降の就業先への関心度は、50代以上の「生涯現役」志向層では医療機関48%が最も高いものの、訪問看護44%や地域保健44%が遜色ないレベルとなっている。

■とても関心がある+やや関心がある

	50代以上の生涯現役 (n=27)	その他50代以上 (n=169)
医療機関での看護に従事する	48.1	56.9
介護施設での看護に従事する	37.0	33.7
訪問看護などの在宅医療・看護に従事する	44.4	36.7
地域保健に従事する	44.4	39.7
看護系教育研究機関で看護教育(実習指導教員等含む)に従事する	33.3	21.4

単位: %

(4) 働き続けるために必要なこと【現在の就業先で働き続ける方】

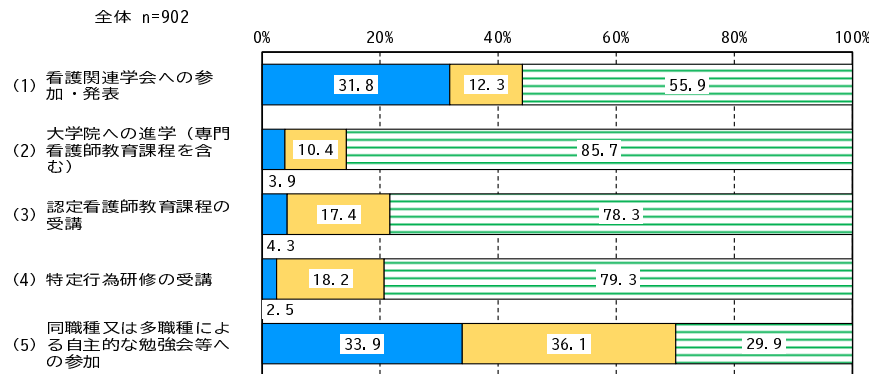
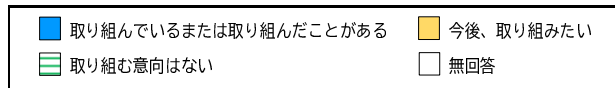




V. キャリアアップの取り組み

(1) キャリアアップの取り組み

キャリアアップの取組みは、「同職種または多職種による自主的な勉強会への参加」「看護関連学会への参加」で、ほぼ半数以上のニーズがみられた。いきいきと働いている層は研修の受講や学会や勉強会への参加に積極的で、職位別にみると中間管理職・管理職は「自主的な勉強会」、「学会への参加」へのニーズが高めである。



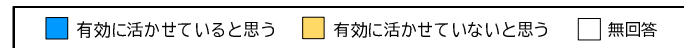
■取り組んでいるまたは取り組んだことがある+今後、取り組みたい

全体	看護職の経験年数					看護職としての働きがい		職位		
	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	いきいきと働いている（とても+概ね）	いきいきと働けていない（あまり+全く）	非管理職	中間管理職	管理職
(n=902)	(n=148)	(n=133)	(n=227)	(n=230)	(n=164)	(n=491)	(n=411)	(n=702)	(n=145)	(n=55)
44.1	29.8	30.8	47.1	50.0	55.5	45.8	42.1	37.3	70.3	61.8
14.3	16.2	13.6	16.3	14.4	10.3	14.3	14.4	13.7	16.6	16.4
21.7	36.5	22.6	24.2	17.4	10.3	25.3	17.6	21.6	23.5	18.2
20.7	32.4	21.9	26.4	16.5	7.3	25.7	14.9	21.8	20.7	7.2
70.0	58.8	61.7	76.6	74.4	71.9	75.6	63.5	66.4	81.4	87.3

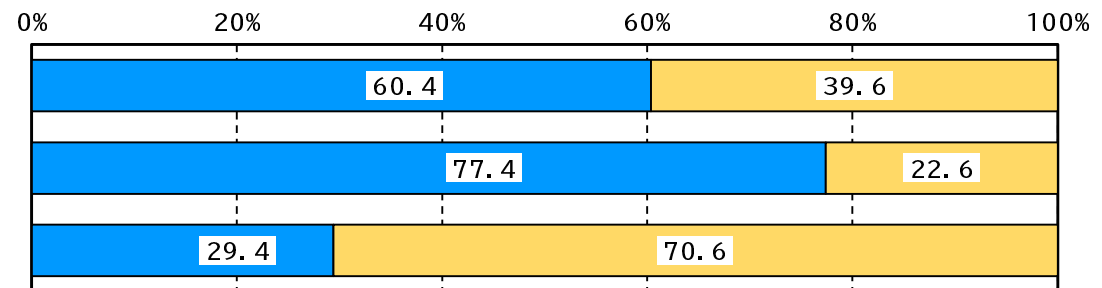
単位：%

(2) 現在の職場でその資格等を有効に活かしていると思いますか【認定看護師、専門看護師、特定行為研修修了の資格等をお持ちの方】

◇職場で資格を活かしているのは60%と過半数だが、いきいきと働いている層では77%、いきいきと働けていない層では29%と、資格の活用度に大きな乖離がみられ、いきいきと働くには職場での保有資格の活用が必須である。



全 体		(n=48)
看護職としての働きがい	いきいきと働けている（とても+概ね）	(n=31)
	いきいきと働けていない（あまり+全く）	(n=17)



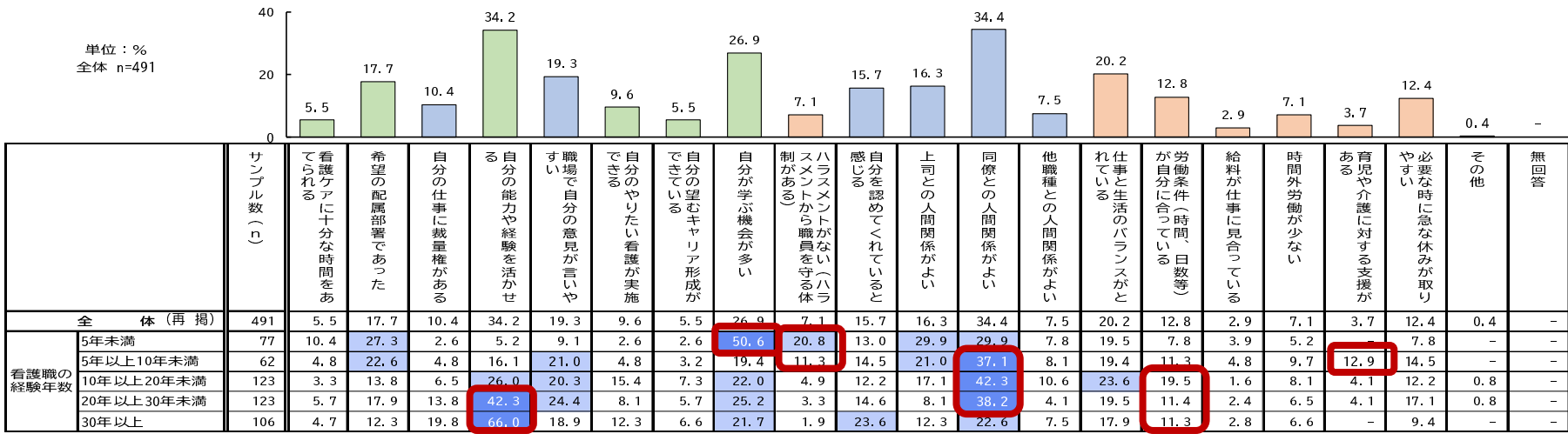


VI. キャリア別 いきいき働くための理由

◇いきいきと働くには、キャリア形成と職場風土、いきいきと働けないのは、労働環境が強く影響する

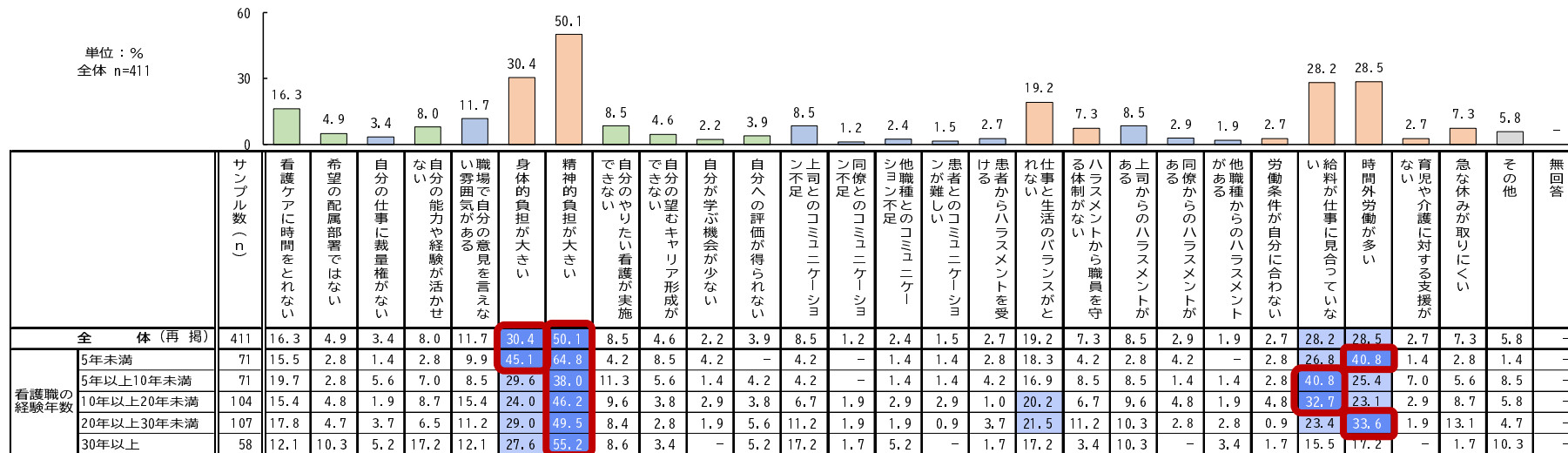
■ 労働環境
 ■ キャリア形成
 ■ 職場風土

(1) いきいきと働けている理由



※ ■ は30ポイント以上、■ は20ポイント以上 単位：%

(2) いきいきと働けていない理由

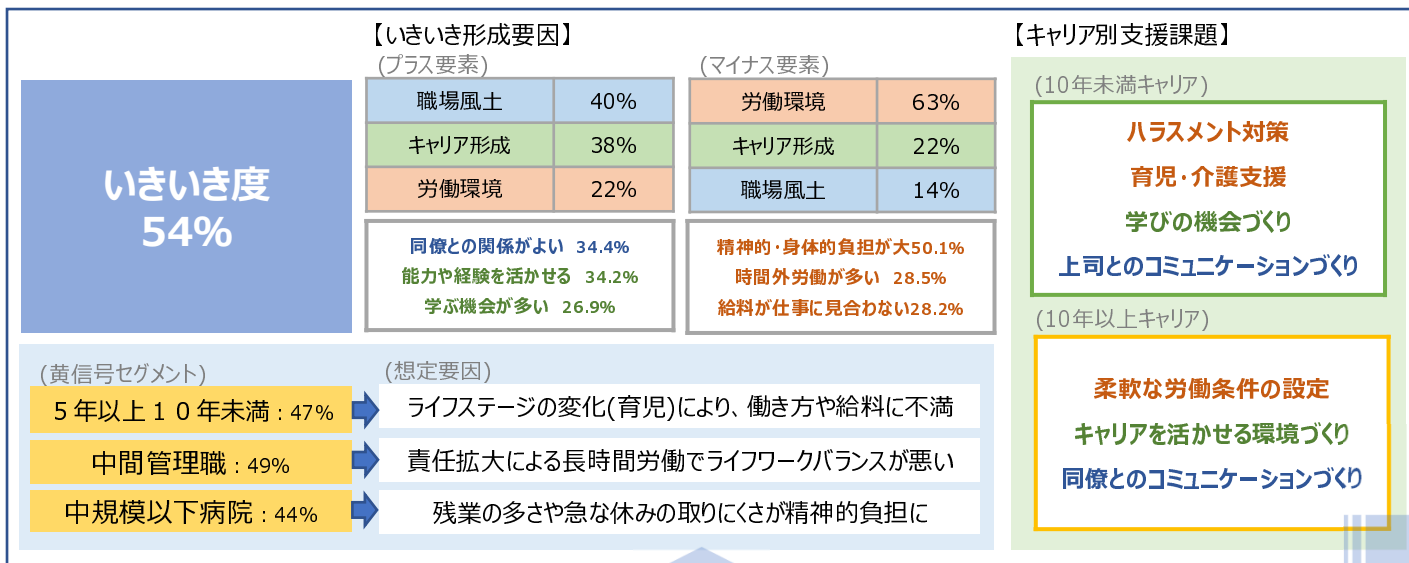


※ ■ は30ポイント以上、■ は20ポイント以上 単位：%



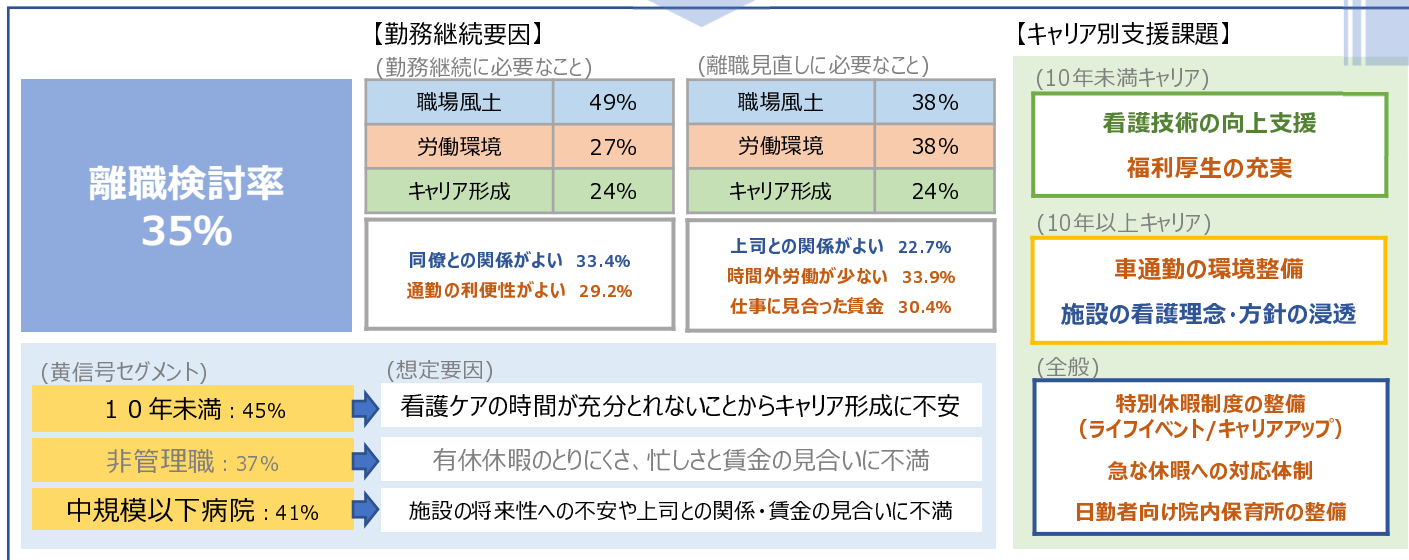
VIIまとめ ～いきいきと働き続けるために

いきいきと働くための支援課題



いきいきと働いている看護職員は、離職検討率が18%にとどまり、相互の関係性が強い

離職防止のための支援課題



ライフステージの変化に対応できる多様な働き方づくり

キャリアアップの道筋の見える化

タテ・ヨコ隔てなく風通しのよい職場づくり